

2022.07.027-29

山梨県中学校総合体育大会

ソフトテニス競技の部 大会資料

① 大会要項	P1
② 新型コロナウイルス感染拡大防止対策 ソフトテニス専門部	P2-4
③ 熱中症対策について	P5,6
④ 災害発生時の対応について	P7,8
⑤ 競技上の注意	P9-12
⑤ 正審・副審について	P13
⑥ 選手乗降・駐車場についてのお願い	P14-16
⑦ 県総体開催における注意事項	P17-18

第73回山梨県中学校総合体育大会「ソフトテニス競技」実施要項 (第52回関東中学校ソフトテニス大会団体戦予選会)

- 1 主 催 山梨県教育委員会 山梨県小中学校体育連盟
- 2 共 催 笛吹市小中学校体育連盟
- 3 後 援 (公財)山梨県スポーツ協会 山梨日日新聞社 山梨放送
- 4 主 管 山梨県小中学校体育連盟ソフトテニス専門部
- 5 期 日 **男子1日目：令和4年7月26日(火)** **女子1日目：令和4年7月27日(水)**
男女2日目：令和4年7月28日(木) 予備日：7月29日(金) ※いずれも少雨決行
- 6 時 間 1日目、2日目共に 専門部役員集合 6：40 各係で集合・打ち合わせ
受付 7：20～ コート正門(試合順による分散受付)
練習コート開放 7：50～8：20 各支部で割り当てられたコート
監督会議 8：00～8：15 管理棟前西側駐車場
競技開始 8：30
表彰式 2日目競技終了後 3コート
- 7 会 場 笛吹市石和中央テニスコート 12面(笛吹市石和町広瀬588 TEL 055-263-2155)
- 8 参加校数 各支部から出場できる学校数は、以下の(1)と(2)を合計した数とする。
(1)実施校数による算定 (2)前年度県新人大会団体戦ベスト8
※詳細は、別紙「令和4年度 山梨県中学校総合体育大会『ソフトテニス競技』出場校数」を参照すること。
- 9 試合方法 競技は(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」及び大会要項・大会出場規定・競技上の注意に従って、団体戦を行う。マッチは7ゲームとする。天候などの状況により5ゲームとする場合もある。
1日目：1チーム3ペアの点取りによるトーナメント方式、ベスト8決定まで行う。
2日目：ベスト8を2つのリーグに分け(1日目のトーナメント表を左右で分け、左側をAリーグ、右側をBリーグとする)、4校によるリーグ戦を行う。各リーグ1位は関東大会出場決定。リーグ1位同士による決勝戦を行う。Aリーグ2位とBリーグ3位、Bリーグ2位とAリーグ3位による、関東大会出場(3位)決定戦を行い、勝者校は関東大会出場決定。関東大会に出場できる学校数は、男女各4校である。
※ただし天候などの状況により上記の試合方法では消化できないという場合は、トーナメント方式などに切り替えることもある。
- 10 試合球 使用球は公認球(白)とし、ケンコーボールを使用する。(令和4年度関東大会使用球に準ずる)
- 11 組み合わせ 組み合わせは、7月に行われる山梨県中学校ソフトテニス選手権大会後の組み合わせ会議にて決定し、山梨県ソフトテニス連盟ホームページ内の中学部掲示板に掲載する。
山梨県ソフトテニス連盟ホームページ：<http://www.soft-tennis.com/yamanashi/>
- 12 表彰 1位の学校に賞状と優勝旗(持ち回り)を授与する。2位の学校に賞状と準優勝旗(持ち回り)を授与する。
3位の学校に賞状を授与する。関東大会に出場する男女各4校の選手に関東大会出場認定証を授与する。
- 13 荒天時 **7月26日が荒天の場合は、女子1日目を27日、男子1日目を28日、男女2日目を29日とする。**
7月27日が荒天の場合は、女子1日目を28日、男女2日目を29日とする。
7月26日、27日共に荒天の場合は、男女1日目を28日、男女2日目を29日とする。
＜荒天時の対応＞
事務局が午前5時の時点で判断し、山梨県ソフトテニス連盟ホームページ内の中学部掲示板に掲載する。
また、1日目は、各支部専門部長を通して、各支部出場校に連絡する。2日目は、事務局から直接出場校に連絡をする。
- 14 申し込み方法
(1)出場権を獲得した学校は、所定の出場申込書に必要事項を記入し、出場申込書、参加料を添えて、**6月17日(金)までに**支部専門部長に届ける。やむを得ず遅れる場合は、必ず支部専門部長へ連絡をする。
(2)参加料は、一人につき500円とする。納入された参加料は、主催者の都合等で中止になった場合を除き、返金しない。
(3)支部専門部長は、支部内全ての出場校の出場申込書、参加料を取りまとめて、所定の支部申込書に必要事項を記入し、教育内大会打ち合わせ会議に持参し提出する。
- 15 運営担当支部と担当人数 ※運営担当の先生方は、7：00までに大会本部席に集合をお願いします。
【男子1日目】甲府(1)、峡北(1) 【女子1日目】甲府(1)、峡北(1) 【男女2日目】甲府(1)、中巨摩(1)
- 16 その他
(1)今大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑み、**無観客で開催**する。
(2)各支部専門部長は、支部予選終了後速やかに結果(出場校)を事務局にメールする。
(3)監督・引率・受付は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。
(4)選手・監督・外部指導者は、大会要項、大会出場規定および競技上の注意に従う。
(5)**監督会議には、必ず出席すること。ただし分散受付による時間の都合で、監督会議に出席できない場合は、受付時に配布する監督会議資料を必ず確認すること。**
(6)審判については、1日目の正審は、原則として**敗者校の審判有資格者の監督**が行い、副審は敗者校の生徒が行う。2日目の正審および副審は、**原則として1日目に敗退した学校の審判有資格者の監督と各支部で割り当てられた審判有資格者の審判員(顧問)が行う。**
(7)写真撮影のみ(携帯電話、スマートフォンやタブレットでの撮影、動画の撮影は除く)大会本部に許可申請を行う。
(8)駐車場は、**必ず指定された駐車場を利用する**ように保護者、バス会社等に周知徹底する。なお、大会男女1日目は各支部より1名、6：55にコート入口門に集合し、交通指導を行う。**(路上での駐停車禁止、路上での乗降禁止)**
- 17 事務局・問い合わせ先 甲州市立塩山中学校 山梨県小中学校体育連盟ソフトテニス専門委員長 廣瀬 剛
TEL 0553-33-2143 事務局メールアドレス：yjhst@yahoo.co.jp

山梨県小中学校体育連盟ソフトテニス専門部

大会開催時における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 改訂版

令和4年6月23日
山梨県小中学校体育連盟ソフトテニス専門部

1 はじめに

本ガイドラインは、日本スポーツ協会が作成した「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」、山梨県小中学校体育連盟が作成した「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」、日本ソフトテニス連盟が作成した「ソフトテニス大会再開に向けたガイドラインについて」に基づき、山梨県小中学校体育連盟ソフトテニス専門部(以下本専門部)における大会開催時の指針として作成しました。

なお、本感染防止対策(ガイドライン)は、現段階で得られている知見等に基づき作成しています。今後見直すことがあり得ることにご留意ください。

2 大会開催時の感染防止対策について

①全般的な事項

- 無観客で開催する。参加できるのは、選手、引率教員、大会役員、その他本専門部より認められた者とする。
- 参加者全員、マスクを持参し、着用する。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
※大会本部では、大会受付スペース、大会本部、救護室、男女トイレ、外水道2か所、管理棟入口、審判台に設置する。
- 参加生徒、大会役員等との距離(できるだけ2m以上)を確保する。
※密になることが予想される受付スペースや大会本部の近くでは、密を避けるための、目印をおく。
- 参加者全員について、以下の事項を記載した書面の提出を求める。
 - ① 参加同意書 ※個人情報の取扱いに十分注意する
 - ② 健康チェックカード(参加生徒のみ 各学校で使用しているもの)
 - ③ 大会前2週間における以下の事項の有無 ※大会参加同意書で確認する
※上記①～③は、大会当日の朝、大会受付スペースで提出と確認を行う。
- 大会中に大きな声で会話、応援等をしない。
- 参加者の待機場所は、中央屋根下、中央芝生スタンド、南側スタンド、テニスコート駐車場(全面)とする。
- テニスコート周辺にいる必要がない場合(すべての試合が終わったあとなど)で、保護者の送迎やバスを待つ場合には、清流公園芝生広場を利用する。
- 参加者の待機場所の広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。
- 前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線上に並ぶのではなく、横並びにする、あるいは斜め後方に位置取る。
- 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを用意する。参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける。
※大会当日は放送で注意喚起をする。
- 各自でゴミを持ち帰るビニール袋を持参し、ゴミは全てビニール袋に入れて密閉して縛り、持ち帰る。

- 飲食指定場所は、テニスコート会場内(中央屋根下、中央芝生スタンド、南側スタンド、テニスコート駐車場)と清流公園芝生広場とし、大会中の飲食は必要最低限にとどめ、できるだけ短時間で済ませ、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにする。
- 飲食場所は広さにはゆとりを持たせ、他の者と密になることを避ける。
- 選手の飲食は、参加校の責任において喫食させるとともに、ゴミはすべて持ち帰らせる。
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外(例えば路上)に捨てない。
- 用具、用品(ラケット、タオル、ウェアなど)のシェアをしないこと。また、マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有、使い回しを行わないこと
- 会場への移動等は、各学校で責任をもって行い、集団感染のリスク(3密の条件)を避けること

②大会会場に関する事項

- 手洗い場には石鹼(ポンプ型)を用意する。
※管理棟男女トイレ、外水道2か所、救護室に設置
- 手指を消毒するための消毒液を用意する。
※大会本部では、大会受付スペース、大会本部、救護室、男女トイレ、外水道2か所、管理棟入口、審判台に設置する。
- 手洗いに関するポスター等の掲示をする。
※管理棟男女トイレ、外水道2か所に掲示
- 複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒する。
※役員が定期的に巡回、消毒する。
- 管理棟内トイレ、会議室(救護室)の換気を行う。トイレの扉を含め管理棟の扉、窓はすべて空けておく。
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
※トイレにポスターを掲示する。
- 2階会議室(救護室)をけが人と体調不良の2つのスペースに分ける。
- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること。

③大会運営に関する事項

- 大会受付のスペースは、屋外の換気のよいテニスコート入口門付近とし、3つのブースを設け、手指消毒剤を設置する。テニスコート東側(図書館側)の通用門は閉鎖し、中央入口門を全員が通過するようにする。
- 大会受付で、参加者全員の非接触型による体温検査を実施する。また、参加生徒全員の検温チェックカード(各校で常時使っているもの)を持参し、受付時で確認する。
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛ける。(状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することもありうる)
- 受付が込み合わないようするため、試合順番で、受付時間を分散する。
- 受付を行う大会役員は、マスクを着用し、フェイスシールドを準備する。
- 受付では、参加者全員がマスクをしているか確認する。
※マスクがない参加者は、大会本部で準備するマスクを着用する。
- 感染予防対策を優先し、試合に支障がない開会式・閉会式を省略し、表彰式のみ行う。
- 監督会議は、大会受付時に配布する書面にて行う。

④試合前後, 試合中に関する事項

- 大会中, 同校の他の選手の応援は禁止する。試合見学はよいが, 距離の確保に努める。また, 観客席が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦するよう、チームごとに注意喚起を行う。
- 試合前後に、こまめな手洗いをを行うこと。
- 選手は、試合中は十分な距離を確保しながらマスクを外してプレーを行うが、コートの外ではマスクを着用する。
- 試合中, 試合前後のペアとのミーティング, チームでのミーティング, アドバイス等においても, 三つの密を避ける。
- 試合前のアップおよび試合において、選手が密集・密接する声出し、整列などは行わない。
- 試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はネットから1m以上離れて行う。また試合後の選手間での握手も禁止とする。
- ペア同士の打ち合わせは対面しないようにし, 同じ方向を向いて、周りに聞こえない小さい声で行う。
- ペアなどとのハイタッチや握手は行わず、サムアップやエアタッチ等で行う。至近距離での声掛けも避ける。
- コート内においてもできるだけ, 2メートルを確保するよう努力する。
- 審判(正審・副審)は、試合前後の整列時はマスクを着用する。試合中は外してもよい。
- 審判は、審判をする試合前に、手洗いをし、審判台にあるアルコール等による手指消毒液で、手指を消毒する。
- 試合中, 試合前後のアドバイスやミーティングは離れたところから, 監督やペアの距離を確保する。
- 話す機会の多い指導者には, フェイスシールドの着用を推奨する。
- できるだけ短い時間でのアドバイスやミーティングにする。
- 全ての試合終了後やテニスコート付近にいる必要がない時のミーティングは, 清流公園芝生広場など広い場所を利用する。

(以上)

夏季に行われる県ソフトテニス大会に関わる熱中症予防対策

山梨県小中学校体育連盟ソフトテニス専門部

I 【大会において】 選手、応援、監督、観客、全ての方の生命・安全が第一です。

①当日の天気により、**特別ルール（給水できる回数を増やす。チェンジサイズの時間を延長、シャツ出しを認める等）の適用**を行います。その場合は、監督会議や開会式（開始式）の中で周知します。

②試合が連続になるときや、当日の天気次第では、**一定時間の休憩をはさむなどの進行**にしていきます。**また、暑くなる時間帯を避けるために、一斉休憩をとります**。場合によっては、2時間以上の休憩時間をとる場合もあります。

③審判員・競技役員のための**水分を確保**します。審判ができるだけ連続にならないように、**休憩時間を入れていきます**。審判・競技役員のための**日陰で休める場所を本部席横に確保**します。

③**水分をこまめに補給し、水分不足にならないように、多めの水分を持参する**ように事前に各校で指導していただきます。また、クーラーボックス等の持参や、飲み物を凍らせておくなどの工夫や、塩分を含む水分や、スポーツドリンクなどを準備することをお願いしていきます。

④選手、応援、観客の**帽子の着用を徹底**します。帽子の着用がない生徒については、タオル等で頭・首付近を覆うように指導します。

⑤**放送による注意喚起**（水分補給、日陰での休憩、帽子の着用など）をこまめに行います。

⑥**各校で、できるだけテント**を持ってきていただき、**休憩は、屋根の下や各校で準備したテントなど日陰の場所**など、体温を下げる効果のある場所で行うように呼びかけを行います。**テントの設置場所は、南側（石和中側）スタンド（支部割り当て有り）と、コート駐車場の東側（スコレーセンター側）**を設置可能場所（支部割り当て無し）とします。

⑦**県総体男女2日目は、応援生徒が日陰で応援できるように、各校のテントを持参していただき、持参したテントの中で応援できるようにします**。

芝生スタンド（中央通路）側のみ、応援スペースとします。各校で持参したテントを芝生スタンド（中央通路）のコート際（コンクリートの壁際）に持ってきていただき、そのテントの下で応援をしていただきます。両チームが芝生スタンド側の応援となりますが、番号の小さいチームを向かって右側、大きいチームを左側とします。1～6 コートの管理棟側スタンド及び、7～12 コートの北側壁での応援はしません。

⑧引率生徒に、**各校でもこまめに注意喚起**（水分補給、日陰での休憩、帽子の着用など）をしてもらえるようにお願いしていきます。**体調不良が生じた場合には、救護室（管理棟2階会議室）を利用**できるようにしていきます。

⑨ベンチでの**日傘の使用**、チェンジサイズ時の「**うちわ**」や「**せんす**」の**使用**を認めます。

⑩**WBGT値を測定する熱中症指標計**を準備しデータの確認をしていきます。

⑪**環境省熱中症予防情報サイト等よりデータの収集**と今後の予測の確認を、定期的に確認します。

⑫体調の悪い方や、救護室を利用する方のための、**補水液・スポーツドリンク、氷等の準備**を、**当日大会本部で準備**します。

Ⅱ 【救護体制について】 緊急時には即時の判断・対応が一番です。

①大会前における専門部と救護役員（養護教諭）との綿密な打ち合わせを、専門部長、専門委員長が中心となり行います。

②緊急時には、救護役員（養護教諭）、専門部長、委員長の即時の判断で救急車をすぐに呼ぶようにします。

また、具合が悪くなった生徒は、各校の顧問の先生に連絡をし、保護者に迎えに来ていただくような対応をしていきます。

③近隣の救急病院は、**笛吹中央病院**。

笛吹市石和町四日市場 47-1 TEL 055-262-2185

④救護用品の準備と確認は、養護教諭と事前に連絡を取り、委員長が用意します。

例年、養護教諭の先生方に持参していただき、使ったものを現物で返しています。

補水液・スポーツドリンク、氷等の準備は、当日大会本部で準備します。

⑤**救護室を、エアコンの効いた管理棟 2F に設置し、養護教諭を配置**します。

ブルーシート 2 枚、アルミマット 5 枚、クーラーボックス 1 つ

⑥大会前より、**各校の顧問の先生は必ず生徒全員の健康観察を実施し、大会当日、大会本部へ報告**を行う。

出発前に健康観察を行い、少しでも体調の気になる生徒は連れて来ないようにする。

大会受付時、健康観察の状況を口頭で確認（引率教員数、生徒数、健康状態）する。

その後も、顧問の先生には、定期的に健康観察を行っていただく。

⑦顧問が監督や審判としてベンチ等に入ることになるので、**可能な限り 2 名以上の付き添いや、応援生徒数を少なくする、1 年生は連れてこない**等の工夫をする。

⑧**救護日誌を専門部で作成し、養護教諭の先生方につけていただく。**

救護室を利用した場合には、その**学校の顧問の先生に必ず、利用していることが伝わる**ようにする。

大震災等の災害発生時の対応について

山梨県小中体連ソフトテニス専門部

1. 連絡系統の確立

関係する各学校または顧問	参加生徒と家庭間	大会本部（県小中体連事務局）
・会場にいる顧問については、放送で指示をする。（停電に備え、ハンドマイクを準備しておく。） ・各学校については、電話またはメールで通信する。	・電話またはメールで通信する。 ・インターネットが使用可能な場合は、山梨県ソフトテニス連盟のHPに状況を随時記入していく。	・電話またはメールで通信する。 ・連絡がつかない場合は、二次避難所に移動後、安全に気をつけて、役員が車で連絡をする。そこで、報道機関への連絡方法を探る。

2. 災害発生時の避難方法

一次避難	二次避難
・身を伏せる → 地震がおさまったら、テニスコート中央付近に移動する。 → 各学校ごとに、顧問が人員の確認をする。	・避難所である石和中学校グラウンドに移動し、人員の確認をする。 ・安全確認が済み次第、校舎または体育館に移動して待機する。 ・自力で帰れる者以外は保護者の迎えを待つ。

3. その他事前に配慮しておくこと

・石和中学校が避難所になっていることを、顧問を通じて保護者に知らせておくことが不可欠であること。 ・山梨県ソフトテニス連盟の掲示板の存在を周知しておく。 http://www.kai.ed.jp/st/

競技上の注意

山梨県小中学校体育連盟ソフトテニス専門部

- (1) 競技は(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」及び大会要項・大会出場規定に従って行う。マッチは7ゲームとする。天候などの状況により5ゲームとする場合もある。
- (2) コート割及び進行は別表のとおりとするが、本部の判断で変更をすることがあるので、放送には十分注意する。
- (3) 選手は背中に規定のゼッケンを、監督及び外部指導者は大会本部より貸与されるIDストラップをつける。また、大会出場規定に従い、服装・テニスシューズ・ゼッケン等きちんと整える。選手は、プレーの度にシャツの裾が出ないようにする。(ただし、熱中症対策として大会本部からシャツの裾だしの許可が出た時はシャツを出しても良い)
- (4) 番号の若い方の選手(チーム)は、中央通路側のベンチとし、チェンジサイズ時にベンチコーチを受ける場合は、選手がベンチの所まで行き受ける。ベンチコーチができる者は、監督および大会本部より許可を受けた外部指導者に限る。選手は監督、外部指導者の助言を受けるために、他のコートに移動してはいけない。
- (5) 選手及び監督、外部指導者は、アンパイヤーの指示に従う。選手はマッチの開始から終了まで連続的にプレーする。1ポイントごとにペアで握手をしたり、相談したりしない。
- (6) 選手及び監督、外部指導者は、お互いにマナーを尊重し、過度のかけ声または相手を不快にする発声をしない。常に真剣にプレーし、相手を威圧するような態度や、ふてくされてのろのろしたり、相手をにらみつけたり、ののしったりして、プレー以外の要素で相手をおとしめようとししない。
- (7) 監督、外部指導者は、それぞれの立場で、わきまえた行動をする。特にベンチでの発声や態度に気を付ける。本大会では、プレー中の応援、励ましなどの発声は、禁止とする。
- (8) 本大会では、声を出しての応援や、一斉応援(手拍子などによるものも含む)はしない。**
- (9) マッチ開始前の呼び出しは原則として行わないので進行には十分注意する。
- (10) 選手は、試合順を確認し、前のマッチが終わったらすぐにコートに入る。前のマッチが終了してから5分経過しても集合しない場合は、集合の通告(放送)を行う。通告後も集合しない場合は、警告の対象となる。

(11) 開始挨拶後について

本大会での試合前後の挨拶は、ネットを挟んで1 m以上離れる。開始挨拶後のアドバイスは禁止する。本大会では、開始挨拶後、すぐに1分間の乱打を始める。乱打後にベンチには戻らず、すぐに試合を始める。

(12) 審判のコールに従って試合を進め、コールが良く聞こえないときは質問し、特にカウントはしっかりと確認する。ボールの行方は選手が確認し、自分たちで拾いにいく。

(13) 異議の申し立ては、選手、監督または外部指導者ともにできないが、質問することはできる（個人戦のときは選手のみ、団体戦のときは選手、監督、外部指導者のいずれか一人のみ）。監督または外部指導者が、選手に対して、「質問をしろ」と言葉をかける行為は、警告の対象となる。

(14) 個人戦について

- ① トスは、コート上ではなく、事前に大会本部席にて行う。自分の試合の1つ前の試合が始まったら、大会本部席にペアで来る。放送で呼ばれることの無いように、試合の進行を注意深く見ておくこと。試合相手がそろったら、その場でトスを行う。本部役員の確認のもと、採点票に記入をし、その採点票をもって審判に渡し、試合を行う。
- ② 監督のベンチ入りは1マッチ1回のみとしてマッチ途中でベンチから出た場合、再びベンチに戻ることは認めない。
- ③ コートへの入場時に、監督が他のコートにおいて同校のペアがマッチ中のため入場できないときは、マッチ途中からのベンチ入りを認める。
- ④ 監督はコート内では指定されたベンチに着席し、マッチ中の監督交代は認められない。

(15) 団体戦について

- ① 対戦相手が決まっている1回戦のオーダー提出は、朝の監督会議までに監督が大会本部席に提出する。それ以降は対戦相手が決まり次第、速やかに大会本部席に提出する。
- ② 本大会では開始挨拶後の円陣は行わない。
- ③ トスはマッチごと、コート上で行う。
- ④ コート上のベンチに座ることができる者は、監督及び外部指導者、試合をしている選手、次の試合を待つ選手のみとし、それ以外の選手は、コート外の試合をしている近くで待機する。一定の身体的距離を確保すること。
- ⑤ 大会運営上、2面展開、3面展開で行うこともある。監督、外部指導者は、同じベンチに着席し、ベンチの位置は2面または3面の中央とする。最終的に1面に戻った場合は、そのコートの中央とする。監督席の移動については該当校で移動する。また、マッチ終了の挨拶は、最終マッチのコートで行う。
- ⑥ 団体戦途中で監督が抜けて、敗者審判に行くようなことはしない。事前に分かっているのであれば、初めからベンチに入らない。

- (16) 身体上の理由など正審が必要だと認めた場合はタイムの申請が認められる。しかし過去には、身体上の理由と思えない（流れを変えるためと思われるような）タイムの申請や、同じく流れを変えるために「ボールの空調を依頼した」と思われる行動があった。**正当な理由なく、「連続的にプレーすること」に反するような行動はしない。**

(17) 警告について

以下の項目は警告の対象となる。

① マッチ中の遅延行為（レッツプレーに従わない場合）

例：サービス時に風が止むのを待っている。マッチ中に止まって、間を取っている。（連続プレーを妨げるもの）

② チェンジサイズ時やファイナルゲーム前の制限時間の超過

「レッツプレー」のコール後、次のゲームを開始する態勢に入らない。

例：レッツプレーのコールの後に水分補給を始める。

③ チェンジサイズ時やファイナルゲーム前の制限時間以外の声かけ

例：ポイントの合間で監督・外部指導者の声かけに後ろを向いて返事をする。

【監督・外部指導者・ベンチから】

- ・ プレーへの指示や指導が伴う場合。
- ・ サインやジェスチャーによるアドバイス。
- ・ 過度な喜びの表現（例：1ポイントごとにベンチから立ち上がるなど。）

【応援席から】

- ・ プレーへの指示や指導が伴う場合。

応援席に対しては、注意の喚起をし、守れない場合、退場宣告となる。

選手に対しては声かけに反応しているとみなしたら警告の対象となる。

④ インプレー中の声かけ

正審によるカウントのコール後から、ポイントが決定するまでの間は選手以外による発声はできない。発声した場合、ベンチ及び応援席に対しては注意、監督に対しては警告の対象となる。

⑤ ボールの痕跡確認

- ・ 選手、監督が痕跡に近づこうとした場合、アンパイヤーはタイムをかけて制止するが、従わない場合は警告の対象となる。その時、選手はベンチに戻らない。
- ・ 判定に対しての再質問があった場合は警告の対象となる。

⑥ マナー違反

- ・ ラケットでネットやコートたたくななどの行為
- ・ 相手を威圧するような行為（相手に向けてのガッツポーズなど）
チェンジサイズで、自分たちのベンチと反対側に行った時、自分のチームの仲間に見せるガッツポーズは、相手に見えてしまうガッツポーズとなる。
- ・ 相手を不快にさせる応援の文言
例：「一本ありがとう」「もうけもうけ大もうけ」等

(18) 審判について ※別紙「正審の役割、副審の役割」を参照

- ① 審判をするときは、大会本部に行き、どのコートの審判かをはっきり告げ、採点票や用具等を受け取り、審判するコートで、選手を中央に集め名前を確認し、トスをする。
- ② 団体戦の審判は、原則、有資格者顧問（審判ワッペンをつける）が審判をする。本年度においては無資格であっても審判を行うことを可とする。
- ③ 正審は大きな声を出すこと。「アウト」「フォルト」だけコールし、「イン」は言わずに黙っている。特にきわどいインの時は手を前に出して「イン」のサインをだしても良い。
- ④ 副審は、1ポイント決まったら、ネットポスト脇の丸椅子に置いてあるカウンターを操作し、カウントをめくる。
- ⑤ 副審は、サービスライン及びサービスサイドライン、サイドラインの判定を行う。ベースラインやサービスセンターラインの判定の権限は正審にあるので、副審はベースラインやサービスセンターラインをよく見ていることは必要であるが、サインは出さない。正審に聞かれるまでは何もしない。
- ⑥ 選手からの質問が来て、ボールの痕跡を確認した後などは、正審は両ペアを審判台付近に呼び、判定の通達をする。このとき副審も審判台のところへ行く。
- ⑦ **トラブルが発生したり、対応の仕方が分からなかったりしたときは、大会本部に相談する（副審が大会本部に行く）。※個人戦の時、生徒審判の判定で疑問に思うことが発生した場合、両校の監督は相談し（両校がいない場合は片方の監督が）、生徒審判に本部に確認するように言う。生徒審判から大会本部へ確認し対応をする、という流れをとる。**
- ⑧ 試合が終わったら、選手がボールを拾って中央に集まり、試合結果を確認し、あいさつをする。勝者は採点票にサインをする。

正審の役割

※採点票に必要事項を正確に記入する（プレイヤーの確認）

- ①プレイヤーより先に準備を整えて、プレイヤーの出場を促すこと。
- ②プレイヤーの確認をする。言動が適切であること（コールは大きな声で）
- ③マッチが円滑で明瞭に進行するよう努めること。
- ④判定は公正に行うとともに、時機を失しないようにすること。
- ⑤コールの前にサバー、レシーバーの確認とその体制の確認をしてから「コール」する
- ⑥他のアンパイヤーの判定区分については、その権限を侵さないこと。
特に副審の判定区分には、サインを確認してから「コール」すること。
- ⑦サービスのフォールトは全てコールすること（大きな声で）
- ⑧副審または線審が判定区分を間違えてインプレーを停止するサインまたはコールをした場合、その判定が誤りであるならば、正審は「タイム」とコールし、ノーカウント（レシーブを終わる前はレット）にするかまたは判定の訂正を行う。
- ⑨ゲームが終了したら直ちに審判台から降りて挨拶を済ませ、そのあと最後のポイントを入力する。（☆勝者から勝者欄にサインを貰うこと）

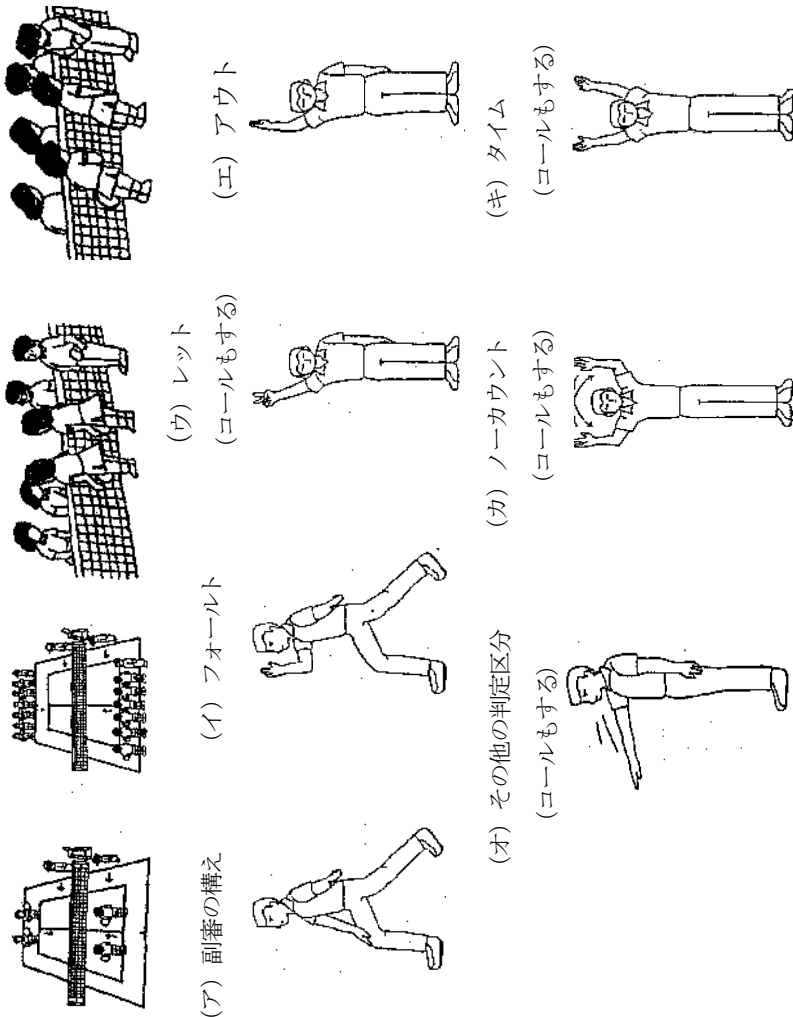
副審の役割

- ①機敏に動作する
- ②判定区分を守る。
☆ベースラインとサービセンタースタートラインにはサインをしない（トラブルの元）
- ③副審は判定区分の中で失ポイントの判定をする時に、アウトとフォールト以外は全てコールする。（定められたサインで判定すること）
- ④サービスのネットには、サインを出さない。
- ⑤サービスのインのボールには、原則としてサインをしない。但しインであるがプレイヤーが判断に迷うと思われる場合は、インのサインをしてもよい。
- ⑥サービスの判定の後は速やかにネットポストの後ろ約60cmの位置に移動してラリーを守る（戻りも機敏に動作する）
☆プレイヤーが審判員に触れると失ポイントとなる
- ⑦落下点に正対し注目する。
- ⑧正審が「ゲームセット」とコールしたら直ちに、ネットを挟んで正審の横に整列する。
- ⑨サインは長め。（2～3秒程度）
- ⑩ボールの管理をすること。

誤	正
・主審 ・セーフ ・セブンゲームス<u>マ</u>ッチ ・ボールア<u>ッ</u>プ ・チェンジ<u>サイ</u>ド（コート） ・ツーバウ<u>ン</u>ド ・スリーオール<u>ジュ</u>ース ・アゲン<u>ジュ</u>ース ・ホーサーバ<u>ー</u>（レシーバ<u>ー</u>） ・フォールトア<u>ゲ</u>ン ・バックア<u>ウ</u>ト（サイドア<u>ウ</u>ト） ・オーバ<u>ー</u>ネット ・タ<u>ッ</u>チネット ・ゲームオ<u>ー</u>バーア<u>ン</u>ドゲーム<u>セ</u>ット ・「や<u>っ</u>と1<u>セ</u>ットと<u>れ</u>た<u>よ</u>」 ・済<u>み</u>ませ<u>ん</u>間<u>違</u>え<u>し</u>た ・ツ<u>ー</u>ノール	・正審 ・イ<u>ン</u> ・セ<u>ブ</u>ンゲームマ<u>ッ</u>チ ・レ<u>デ</u>イ ・チェンジサ<u>イ</u>ズ ・ツ<u>ー</u>バウ<u>ン</u>ズ ・デ<u>ュ</u>ース ・デ<u>ュ</u>ースア<u>ゲ</u>ン ・アドバ<u>ン</u>テ<u>ー</u>ジサ<u>ー</u>バ<u>ー</u>（レシーバ<u>ー</u>） ・ダ<u>ブ</u>ルフォ<u>ー</u>ルト ・ア<u>ウ</u>ト ・ネ<u>ッ</u>トオ<u>ー</u>バ<u>ー</u> ・ネ<u>ッ</u>トタ<u>ッ</u>チ ・ゲ<u>ー</u>ムセ<u>ッ</u>ト ・「や<u>っ</u>と1ゲ<u>ー</u>ムと<u>れ</u>た<u>よ</u>」 ・コ<u>レ</u>クシ<u>ョ</u>ン ・ツ<u>ー</u>オ<u>ー</u>ル
・レッ<u>ツ</u>プ<u>レ</u>ー（<u>連</u>続的<u>に</u>プ<u>レ</u>ーする<u>こ</u>とを命<u>ず</u>る<u>コ</u>ール） ・ローテシ<u>ョ</u>ンチェン<u>ジ</u>（パ<u>ー</u>トナ<u>ー</u>と交<u>替</u>する<u>こ</u>とを命<u>ず</u>る<u>コ</u>ール） ・ディ<u>ス</u>クオ<u>リ</u>フィケシ<u>ョ</u>ン（失格）	

（開始前の整列）

挨拶



乗用車およびバス利用での選手乗降・駐車場についてのお願い

山梨県小中学校体育連盟ソフトテニス専門部

- ① 乗用車の駐車場，生徒の乗降は，必ず清流公園駐車場を利用すること。
乗用車がスコレーセンター駐車場（表裏ともに）を使用することは禁止。

- ② バスの乗降は，必ずスコレーセンターの駐車場を利用すること。

- ③ 路上での駐停車および路上での乗降は安全上，絶対禁止。

必ず守るように，各校で指導（生徒，保護者，バス・タクシー会社等）をお願いします。



バスの駐車場についてのお願い

山梨県小中学校体育連盟ソフトテニス専門部

バスの駐車場には限りがあるので、原則として、回送していただく。

①朝のみ、回送するバスの生徒の乗降は、スコレーセンター駐車場の東側から入り、駐車場で生徒を降ろしたら、西側から出るようにする。(一方通行)

②やむを得ず、駐車する場合には、スコレーセンターのバス駐車枠（８台程度・大型バス）、石和中テニスコート前の職員駐車場（白線の枠がついていない部分 １０台程度・マイクロバス・中（大）型バス）を利用する。台数が多くなれば、縦列駐車をお願いする場合があります。



山梨県小中学校体育連盟ソフトテニス専門部よりお願い バスの乗降・駐車の方法

バス駐車場 10 台程度

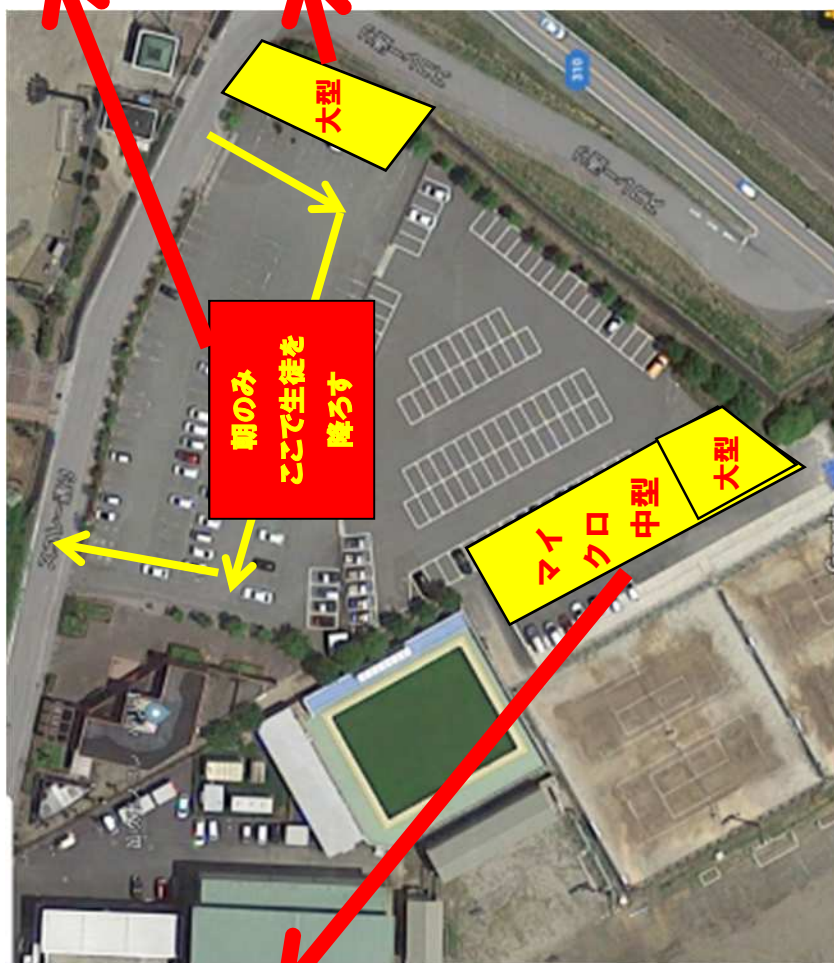
(マイクロバス・中型バス)

入口側の駐車場が大型バスで満車の場合、大型バスは笛吹川側から順にとめてください。下記写真右の赤○のように、一般の車が駐車しますと、大型バスは出られな
く恐れがあります。

役員は大会運営のため、不在です。バス会社同士で話していただき、うまく止めたり、移動をお願いします。



朝 7：00～7：40まで大会役員が交通指導を行うので、その指示に従ってください。



朝、バス回送の場合、東側から入り、生徒を降ろしたら、西側から出る。

バス駐車場 8 台程度

(大型バス)



大型バスは、入口側スコレーセンターのバス駐車枠を利用し、マイクロバス・中型バスは、石和中テニスコート前の職員駐車場（白線の枠がついていない部分）を利用してください。台数が多くなれば、**縦列駐車をお願いする**場合もあり

第 73 回山梨県総合体育大会ソフトテニス競技の部を行うにあたり注意事項

山梨県小中学校体育連盟ソフトテニス専門部

- ① 本大会は、大会に出場する選手と 2、3 年生の応援生徒の入場を許可します。ただし、特別な事情がある場合は、まずは事前に支部長に連絡をしてください。その後、支部長と専門部長と専門委員長で対応を協議します。保護者の観戦はできません。道路からや、フェンス越しからの観戦、ビデオ、写真撮影も禁止です。
- ② 本大会に参加する生徒、学校関係者は、以下のガイドライン、大会要項、大会出場規定、競技上の注意を必ず事前に読んでおいてください。顧問の先生は、事前に大会に参加する生徒に指導をお願いします。
 - ・山梨県小中学校体育連盟ソフトテニス専門部が作成
 - 「大会開催時における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策」
 - 「大会要項」「大会出場規定」「競技上の注意」
- ③ 大会会場内では、「感染防止ガイドライン」に基づいた行動ができるように、顧問の先生は、事前に大会に参加する生徒に指導をお願いします。他大会では輪を作っての食事、待機場所での密、声を出しての応援やアドバイス、各校の控え場所やテントの中が朝から騒がしい状況など、コロナのガイドラインが徹底されていない状況が見受けられました。ガイドラインに基づいた過ごし方の指導を顧問の先生方より、事前に大会に参加する生徒に指導してください。
- ④ 大会当日、マスク、ごみを入れるビニール袋は各自で準備してください。ごみはすべてビニール袋に入れて持ち帰りしてください。
- ⑤ 体温計を各校で持参してください。こまめに検温を行い、体温を測るためだけの救護室の利用を控えてください。また、手指消毒液は大会本部でも準備しますが、可能な限り手指消毒液を各校で持参していただき、控えベンチで手指消毒（飲食時など）できるようにしてください。
- ⑥ 大会当日の受付での提出物
 - ・選手は、保護者の「参加同意書」を本部に提出してください。学校で通常使っている「検温カード」（普段学校で使っているもの）は顧問の先生が回収し、参加同意書とともに本部へ提出してください（大会役員がチェックをしたらすぐに返却します）。大会 2 日目に進出した場合は、大会 2 日目分の参加同意書を大会 2 日目の朝に受付に提出してください
 - ・学校関係者（引率顧問の先生、大会役員の先生、派遣審判の先生、管理職の先生、写真業者の方等）は、「健康チェックシート」が必要です。コート正門受付にて提出をお願いします。
- ⑦ 朝の練習コート開放は、個人戦、団体戦共に、各コート、各支部で割り当てます。7：50～8：20まで10分×3回とします。
- ⑧ 2 対戦目以降どちらかが初戦の場合以外の乱打はありません。
- ⑨ 大会前の監督会議を行います。時間は 8：00～8：15、場所は、管理棟前西側駐車場で行います。監督会議には、必ず出席してください。ただし分散受付による時間の都合で、監督会議に出席できない場合は、受付時に配布する監督会議資料を必ず確認してください。

⑩ 開会式、閉会式は行いません。競技終了後、簡易的な表彰式のみ行います。前回大会の個人戦の優勝杯の返還は、大会本部に直接返還してください。

⑪ シート引き

7：20以降にシートを引いてください。中央通路と中央芝生スタンド、南側スタンドは支部で割り当てをします。各支部で、学校の割り当てが決められていたら、その指示に従ってください。テニスコート駐車場（全面）を各校のテントスペースとします。テニスコート駐車場は、支部の割り当てをしません。各校でシートやテントを持参していただき、大会会場内が「密」にならないようにご協力をお願いします。

⑫ 大会受付

コートの出入りはコート正門1か所のみとし、役員が受付に常時待機します。

東側（図書館側）入口は出入りできません。

受付時に全員、非接触型体温計による検温チェックを行います。

検温が37.5度以上の場合は、救護室に行き、再測定してください。

受付は7：20から行います。あまりに早い時間帯(7時前など)からコート正門付近で待機していることの無いように、7:10までは清流公園芝生広場など広い場所、バスの中、保護者の車の中で待っていてください。お願いします。大会受付付近が密の状態を作らないように、ご協力をお願いします。受付は分散受付とし、受付時間は各校の判断に任せます（本大会は、常時受付可能です）が、余裕をもって来るようにしてください。

～受付時の流れ～ 朝の受付の混雑を回避するために、

1 あらかじめ、各校で参加選手の「参加同意書」「検温カード（各学校で使用しているもの）」をひとまとめにしておく。

2 「健康チェックシート」の体温は、先生方各自で書いてもらう。

3 受付では、到着受付のみとする。

4 「参加同意書」と「健康チェックシート」の回収箱を準備しておき、各校の先生方に直接いれていただく。

「検温カード」は大会役員がチェックし、その場で顧問の先生に返却します。

5 組み合わせ表、監督会議資料等、各校に配るものは、あらかじめ封筒につめておき、ストラップと封筒をセルフで各校顧問の先生が別の場所ですべてもらう。

⑬ 駐車場について、顧問、役員、学校関係者の駐車場、保護者による送迎は、「清流公園駐車場」です。バスは「スコレーセンターのバス駐車場」「石和中テニスコート前駐車場」です（別紙参照）。バスはできるだけ回送していただくようご協力をお願いします。

その他、大会に関わることで、不明な点があれば、

山梨県小中学校体育連盟ソフトテニス専門委員長 塩山中学校 廣瀬 剛
まで連絡をください。 塩山中学校 0553-33-2143